

## 飯島賢二の 『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 444 回 男と女の、「嘘」の見分け方

2011.10.30

「嘘」を見分けるテクニック、こんなものがあれば是非とも知りたいと思う。日常茶飯事「嘘」と向き合っている人達がいる。例えば刑事、検事あるいは判事。また、税務調査官もそうだ。いやいや、実は恋愛中のあなたも、そうかもしれないのだ。「口元を押さえる」「髪の毛を触る」「瞬(まばた)きが増える」などは、嘘をついた時の典型的行動である。こういった動作は心理学的にも証明されている。更に、男女の嘘にはハッキリ区別があり、男性が嘘をついている時、また女性が嘘をついている時は大きく違うといわれている。

**男性の場合**、やましい事がある時点で心の中に「まずい...」といった気持ちがある。嘘をついている事に触れられると、急に怒り出し、話を逸らそうとする。実験で、男性に「本心」を隠せと指示した場合、質問者と目を合わせないように「視線」を外してしまい、いざ肝心な事柄に質問が及ぶとオドオドと動揺してしまう。質問者に突っ込んだ質問等をされると、不自然な会話や、不必要と思われる会話を付け足し、懸命に誤魔化そうとする人が多かったという検証結果がある。要するに多弁になり、しなくてもいい解説や弁解が増える。これは頭の回転の速い人とか計算に強い、話力に長けた人ほど強まる傾向がある。不安感から黙っていられなくなるようだ。

**女性の場合**は、嘘をついている事実を「本当の出来事」にしてしまう凄さがある。女性は肝心な質問になると、質問者の顔に視線をじっと合わせてしまい、逸らそうとしなくなる。男性が多弁になって本質を誤魔化そう、話を膨らませて話題を逸らそうと勤めるのに対し、女性は会話の数を減らそうとする。何も語らずに相手を「じっと見ることで」心理的なプレッシャー、相手からの追求を躲そう(かわそう)とするようだ。つまり、女性が視線を逸らさず、「なんで、そんなこときくの？」と言ってにっこり笑いかける時、実は嘘をついている可能性がある...、男性からみれば、信じられない、恐怖の推測が成り立つことになる。

男性は目を逸らして嘘をつき、実に分かりやすい。でも女性の場合はその反対で、相手の目を凝視しながら嘘をつく。だからいつも、男性の嘘は意外と簡単に見破られ易いといわれている。やっぱり女性には、かなわない！

ヤクザ&警察隠語で「謳う」(うたう)という表現がある。謳うというのは「何でもベラベラとしゃべってしまう」という意味である。税務調査においては「嘘」や「誤魔化し」は絶対ダメ、でも、余計なことは言わない事、これ鉄則である。「謳うなよ!」、特に男性の中小企業経営者、謳い過ぎると、思わぬ事態に巻き込まれること、覚えておくべきだ。